

# The way forward

トップインタビュー

## 研究開発の強みを、 さらに研ぎ澄ませて。

当社の業績に大きな影響を及ぼす原油・ナフサの価格は、昨年後半からじわじわと上昇傾向にあります。大局的に見れば安値で推移し、比較的安定していた中で当社の第60期業績は、増収減益となりました。今期業績のプラス要因を挙げますと、まずは金属加工油、機能材の両事業部から自動車業界の顧客課題を解決する新製品が次々にリリースされ、競争優位に立てたことです。研究開発を強みとする我が社らしいビジネスが展開でき、今後にも弾みがつくのではないかと期待しています。ホットメルト事業部では、中国の環境汚染問題を背景とする空気清浄機のフィルター向け用途の需要の高まりに着目し、製品を提供したことが売上の伸びにつながりました。その一方でマイナスに働いた要因としては、昨今のSSDの台頭により、従来のHDDの需要が伸び悩み、当社の成長を支えてきたハードディスク表面潤滑剤の売上がスローダウンしたことなどが挙げられます。このほか、新しくスタートしたデバイス材料事業部はまだ事業規模は小さいものの、着実にお客様の評価を獲得しており、手応えを感じています。今後の世の中のフレキシブルデバイスの需要の高まりに乗じて、大きく伸ばしていきたいと考えています。来期以降につきましては、新たに策定した中期経営計画に基づき、自分たちの強みをさらに強化することで、全体のビジネスを活気づけていく予定です。今後のMorescoにぜひご期待ください。

株式会社 Moresco

代表取締役会長 CEO 赤田 民生

